

# 北海道教育研究所連盟「教員研修に係るアンケート」集計結果

1 実施日 平成27年2月1日～3月12日

2 対象 小・中学校の教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭(期限付任用、再任用含む)

3 回答数(割合) 4485人(北海道の公立小・中学校の教職員の約14%)

	回答数	全回答数に対する割合
<b>0-1 全管内</b>	<b>4485</b>	<b>100.0%</b>
空知	165	3.7%
石狩	2083	46.4%
後志	104	2.3%
胆振	356	7.9%
日高	59	1.3%
渡島	397	8.9%
檜山	46	1.0%
上川	301	6.7%
留萌	37	0.8%
宗谷	111	2.5%
オホーツク	121	2.7%
十勝	253	5.6%
釧路	117	2.6%
根室	37	0.8%
札幌市	298	6.6%

○「石狩」が46.4%(約半数)の回答数を占める。

○「渡島」が8.9%、「胆振」が7.9%と、全回答数に対する割合が、「石狩」に次いで高い。

●「留萌」と「根室」が0.8%と、全回答数に対する割合が最も低い。

<b>0-2 校種</b>	<b>4485</b>	<b>100.0%</b>
小学校	2717	60.6%
中学校	1768	39.4%

○「小学校」が全回答数の60.6%を占める。

●「中学校」が全回答数の39.4%と「小学校」に比べて少ない。

<b>0-3 学級数</b>	<b>4485</b>	<b>100.0%</b>
1～5学級(複式学級・欠学年を含む)	372	8.3%
1～5学級(複式学級・欠学年を含まない)	170	3.8%
6～11学級	1138	25.4%
12～24学級	2524	56.3%
25学級以上	281	6.3%

○「12～24学級」が56.3%(約半数)の回答数を占める。

○「6～11学級」が25.4%と、全回答数の約4分の1を占める。

●「1～5学級(複式学級・欠学年を含まない)」が3.8%と、全回答数に対する割合が最も低い。

0-4 児童生徒数	4485	100.0%
20人未満	180	4.0%
20人以上100人未満	468	10.4%
100人以上300人未満	1185	26.4%
300人以上500人未満	1532	34.2%
500人以上800人未満	937	20.9%
800人以上	183	4.1%

○「300人以上500人未満」の回答数が34.2%と最も多い。

○「100人以上300人未満」の回答数が26.4%と、「300人以上500人未満」に次いで多い。

●「20人未満」と「800人以上」の回答数がそれぞれ4.0%、4.1%と、同程度に全回答数に対する割合が最も低い。

0-5 担当教科	4485	100.0%
小学校担任	1664	37.1%
その他	797	17.8%
特別支援	515	11.5%
算数・数学	284	6.3%
理科	233	5.2%
外国語	216	4.8%
社会	204	4.5%
国語	194	4.3%
保健体育	160	3.6%
技術・家庭	83	1.9%
音楽	82	1.8%
図工・美術	53	1.2%

○「小学校担任」が回答数の37.1%を占める。

○「その他」の回答数が17.8%と、「小学校担任」に次いで多い。

●「図工・美術」の回答数が1.2%と最も少ない。

0-6 校内の職種・職務	4485	100.0%
教諭	3763	83.9%
教頭	370	8.2%
養護教諭	221	4.9%
その他	52	1.2%
栄養教諭	49	1.1%
主幹教諭	30	0.7%

○「教諭」の割合が83.9%と最も高い。

○「教頭」の割合が8.2%と、「教諭」に次いで高い。

●「主幹教諭」の割合が0.7%と最も低い。

0-7 勤続年数	4485	100.0%
1年未満	96	2.1%
1～4年	323	7.2%
5～9年	476	10.6%
10～19年	1107	24.7%
20～29年	1582	35.3%
30年以上	605	13.5%
臨時教員である	279	6.2%
その他	17	0.4%

○「20～29年」の割合が35.3%と最も高い。

○「10～19年」の割合が24.7%と、「20～29年」に次いで高い。

●再任用等で「その他」に回答した受講生を除けば、「1年未満」の割合が2.1%と最も低い。

0-8 臨時教員期間 (臨時教員の期間がある方のみ)	1787	39.8%
1年未満	444	9.9%
1～4年	1052	23.5%
5～9年	231	5.2%
10年以上	60	1.3%

○「1～4年」の割合が全体の23.5%を占める。

○「1年未満」の割合が全体の9.9%を占める。

●臨時教員経験者で「10年以上」の割合は1.3%と最も低い。

1-1 校内研究テーマ(複数回答)	7207	160.7%
教科指導	3757	83.8%
道徳教育	519	11.6%
学習評価	487	10.9%
学級経営	403	9.0%
生徒指導	341	7.6%
特別支援教育	329	7.3%
教育課程	225	5.0%
その他	217	4.8%
特別活動	146	3.3%
総合的な学習の時間	146	3.3%
情報教育	116	2.6%
教育相談	106	2.4%
キャリア教育	97	2.2%
小学校外国語活動	96	2.1%
保健・安全教育	66	1.5%
食育	55	1.2%
環境教育	46	1.0%
国際理解教育	27	0.6%
人権教育	24	0.5%
校内研究を実施していない	4	0.1%

- 「教科指導」の割合が83.8%と大半を占める。
- 「道徳教育」と「学習評価」の割合がそれぞれ11.6%、10.9%と、「教科指導」に次いで高い。
- 「校内研究を実施していない」の割合は0.1%と最も低い。

1-2 校内研究頻度	4476	99.9%
毎週1回以上	153	3.4%
隔週程度	1333	29.7%
月に1回程度	2177	48.6%
2～5か月に1回程度	762	17.0%
半年に1回程度	35	0.8%
1年に1回程度	16	0.4%

- 「月に1回程度」の割合が48.6%と最も高い。
- 「隔週程度」の割合が29.7%と、「月に1回程度」に次いで高い。
- 「1年に1回程度」の割合は0.4%と最も低い。

1-3 研究授業の回数(個人)(平成26年度)	4477	99.9%
0回	1763	39.3%
1回	1999	44.6%
2回	408	9.1%
3回以上	307	6.9%

- 「1回」の割合が44.6%と最も高い。  
○「0回」の割合が39.3%と、「1回」に次いで高い。  
●「3回以上」の割合は6.9%と最も低い。

1-4 校内研究について感じていること	4218	94.1%
実践課題の解決に役に立っている	1553	34.7%
視野を広げるのに役に立っている	1099	24.5%
実践課題の解決に大変役に立っている	857	19.1%
視野を広げるのに大変役に立っている	602	13.4%
役に立っていない	107	2.4%

- 「実践課題の解決に役に立っている」と感じている割合が34.7%と最も高い。  
○「視野を広げるのに役に立っている」と感じている割合が24.5%と、2番目に高い。  
●「役に立っていない」と感じている割合は2.4%と最も低い。

1-5 校内研究が役立たない理由(3つ以内)	133	124.3%
校内研究が日常の実践に結び付いていない	40	37.4%
学校全体で取り組む体制になっていない	25	23.4%
校内研究で意見交流が活発に行われていない	21	19.6%
校内研究の内容が自分の課題と異なる	19	17.8%
校内研究の内容がよく分からない	16	15.0%
その他	12	11.2%

- 「校内研究が日常の実践に結び付いていない」と感じている割合が37.4%と最も高い。  
○「学校全体で取り組む体制になっていない」と感じている割合が23.4%と、2番目に高い。  
●「その他」と感じている割合は11.2%と最も低い。

1-6 校内研推進のために必要なこと	4485	100.0%
課題設定や実施方法を工夫し、全教員が意欲をもって取り組めるようにすること	2552	56.9%
校内研究のための時間を確保し、計画的に実施すること	1146	25.6%
研究に必要な情報・資料を整備すること	191	4.3%
協議が活性化するために、例えばワークショップ型の研修などの手法を取り入れること	170	3.8%
研究課題にふさわしい指導者・講師を活用すること	156	3.5%
校内研究体制を組織に位置付けること	84	1.9%
研究推進のための予算を確保すること	78	1.7%
学校外で行われる研修との関連を図ること	56	1.2%
その他	52	1.2%

- 「課題設定や実施方法を工夫し、全教員が意欲をもって取り組めるようにすること」と感じている割合が56.9%と最も高い。  
○「校内研究のための時間を確保し、計画的に実施すること」と感じている割合が25.6%と、2番目に高い。  
●「学校外で行われる研修との関連を図ること」や「その他」と感じている割合が1.2%と最も低い。

2-1 参加した研修講座(予定を含めて全て)(平成26年度)	6799	151.6%
教科指導	1560	34.8%
特別支援教育	543	12.1%
生徒指導	392	8.7%
情報教育	349	7.8%
教育課程	340	7.6%
道徳教育	273	6.1%
学級経営	254	5.7%
学校経営	184	4.1%
保健・安全教育	164	3.7%
教育相談	151	3.4%
特別活動	120	2.7%
小学校外国語活動	111	2.5%
環境教育	111	2.5%
国際理解教育	100	2.2%
学習評価	88	2.0%
キャリア教育	74	1.6%
食育	74	1.6%
総合的な学習の時間	69	1.5%
人権教育	42	0.9%
その他	288	6.4%
参加しなかった	1512	33.7%

- 「教科指導」と回答している割合が34.8%と最も高い。  
○「参加しなかった」と回答している割合が33.7%と、2番目に高い。  
●「人権教育」と回答している割合が0.9%と最も低い。



2-2 研修講座参加回数(予定を含めて全て)(平成26年度)	2515	56.1%
1～4回	2004	44.7%
5～9回	477	10.6%
10回以上	34	0.8%

- 「1～4回」と回答している割合が44.7%と最も高い。  
○「5～9回」と回答している割合が10.6%と、2番目に高い。  
●「10回以上」と回答している割合が0.8%と最も低い。

2-3 研修講座に参加しなかった理由(3つ以内)	1945	128.6%
参加したいが業務が多忙で参加しにくい	798	52.8%
参加したいが学校体制により参加しにくい	263	17.4%
参加したい研修講座がない	249	16.5%
参加したいが遠隔地で参加しにくい	221	14.6%
参加したいが経費がかかるので参加しにくい	67	4.4%
民間の研究団体や自主的なサークル・研修会に参加しているため ※自主的なサークルとは、任意の参加者で構成されている教科等のサークル	197	13.0%
その他	150	9.9%

- 「参加したいが業務が多忙で参加しにくい」と回答している割合が52.8%と最も高い。  
○「参加したいが学校体制により参加しにくい」と回答している割合が17.4%と、2番目に高い。  
●「参加したいが経費がかかるので参加しにくい」と回答している割合が4.4%と最も低い。



2-4 これまでに参考になった研修講座(3つ以内)	8704	194.1%
教科指導	2513	56.0%
特別支援教育	913	20.4%
学級経営	878	19.6%
生徒指導	767	17.1%
教育課程	471	10.5%
情報教育	453	10.1%
道徳教育	405	9.0%
教育相談	360	8.0%
小学校外国語活動	243	5.4%
学校経営	233	5.2%
保健・安全教育	205	4.6%
学習評価	175	3.9%
国際理解教育	132	2.9%
特別活動	128	2.9%
総合的な学習の時間	127	2.8%
食育	112	2.5%
キャリア教育	106	2.4%
環境教育	106	2.4%
人権教育	36	0.8%
その他	236	5.3%
参考となった研修講座はない	105	2.3%

○「教科指導」と回答している割合が56.0%と最も高い。

○「特別支援教育」、「学級経営」と回答している割合がそれぞれ20.4%、19.6%と「教科指導」に次いで高い。

●「人権教育」と回答している割合が0.8%と最も低い。

3-1 個人で取り組んだ研修テーマ(3つ以内)(平成26年度)	6993	155.9%
教科指導	1798	40.1%
特別支援教育	689	15.4%
学級経営	566	12.6%
生徒指導	390	8.7%
道徳教育	338	7.5%
学校経営	276	6.2%
教育課程	270	6.0%
情報教育	250	5.6%
教育相談	218	4.9%
保健・安全教育	178	4.0%
学習評価	146	3.3%
食育	111	2.5%
キャリア教育	102	2.3%
小学校外国語活動	92	2.1%
総合的な学習の時間	90	2.0%
国際理解教育	90	2.0%
特別活動	75	1.7%
環境教育	67	1.5%
人権教育	55	1.2%
その他	238	5.3%
行っていない	954	21.3%

- 「教科指導」と回答している割合が40.1%と最も高い。  
○「行っていない」と回答している割合が21.3%と、2番目に高い。  
●「人権教育」と回答している割合が1.2%と最も低い。

3-2 個人研修を行う時間(1週間)	3519	99.6%
2時間未満	2136	60.5%
2時間以上4時間未満	862	24.4%
4時間以上7時間未満	347	9.8%
7時間以上14時間未満	121	3.4%
14時間以上	53	1.5%

- 「2時間未満」と回答している割合が60.5%と最も高い。  
○「2時間以上4時間未満」と回答している割合が24.4%と、2番目に高い。  
●「14時間以上」と回答している割合が1.5%と最も低い。

3-3 個人研修の時間確保	3524	99.8%
十分確保できている	88	2.5%
大体確保できている	923	26.1%
あまり確保できていない	1888	53.5%
ほとんど確保できていない	625	17.7%

- 「あまり確保できていない」と回答している割合が53.5%と最も高い。  
○「大体確保できている」と回答している割合が26.1%と、2番目に高い。  
●「十分確保できている」と回答している割合が2.5%と最も低い。

3-4 個人研修の情報収集先 (2つ以内)	5977	169.3%
教育雑誌・文献の購読	1309	37.1%
インターネット	1262	35.7%
教育研究所・研修センター等による情報提供	1132	32.1%
教育関連の学会、サークル、研究会のメンバーとの情報交換	912	25.8%
自校の同僚との情報交換	725	20.5%
自校の管理職からの指導・助言	296	8.4%
図書館・博物館・美術館等の社会教育施設からの情報提供	94	2.7%
テレビ、ラジオ	84	2.4%
その他	163	4.6%

- 「教育雑誌・文献の購読」と回答している割合が37.1%と最も高い。  
○「インターネット」と回答している割合が35.7%と、2番目に高い。  
●「テレビ、ラジオ」と回答している割合が2.4%と最も低い。

3-5 個人研修をしない理由	1132	118.5%
研修する時間がない	590	61.8%
身近に適切な機会がない	299	31.3%
必要性を感じない	72	7.5%
経済的な余裕がない	66	6.9%
その他	105	11.0%

- 「研修する時間がない」と回答している割合が61.8%と最も高い。  
○「身近に適切な機会がない」と回答している割合が31.3%と、2番目に高い。  
●「経済的な余裕がない」と回答している割合が6.9%と最も低い。

4-1 研修の必要性	4485	100.0%
いつも感じている	1861	41.5%
しばしば感じる	1677	37.4%
たまに感じることもある	833	18.6%
あまり感じない	89	2.0%
ほとんど感じない	25	0.6%

- 「いつも感じている」と回答している割合が41.5%と最も高い。  
○「しばしば感じる」と回答している割合が37.4%と、2番目に高い。  
●「ほとんど感じない」と回答している割合が0.6%と最も低い。

4-2 実践的指導力向上のために取り組みたい研修(3つ以内)	11176	249.2%
教科指導	2700	60.2%
学級経営	1495	33.3%
特別支援教育	1176	26.2%
生徒指導	1034	23.1%
道徳教育	685	15.3%
教育相談	514	11.5%
学校経営	485	10.8%
教育課程	478	10.7%
学習評価	465	10.4%
情報教育	447	10.0%
キャリア教育	262	5.8%
小学校外国語活動	244	5.4%
保健・安全教育	223	5.0%
食育	146	3.3%
特別活動	140	3.1%
総合的な学習の時間	140	3.1%
国際理解教育	126	2.8%
環境教育	110	2.5%
人権教育	107	2.4%
その他	161	3.6%
特にない	38	0.8%

- 「教科指導」と回答している割合が60.2%と最も高い。  
○「学級経営」と回答している割合が33.3%と、2番目に高い。  
●「特にない」と回答している割合が0.8%と最も低い。

4-3 どこで研修を行いたいか(2つ以内)	7668	171.0%
教育研究所・研修センター(教育センターや道研を含む)の研修講座	2526	56.3%
自主的な研修	1755	39.1%
校内研究	1587	35.4%
民間の研究団体や自主的なサークル・研修会等	1425	31.8%
大学・大学院等	266	5.9%
その他	109	2.4%

- 「教育研究所・研修センター(教育センターや道研を含む)の研修講座」と回答している割合が56.3%と最も高い。
- 「自主的な研修」と回答している割合が39.1%と、2番目に高い。
- 「その他」と回答している割合が2.4%と最も低い。